

平成19年度事業報告書

(財)滋賀県水産振興協会

平成20年7月

1 事業概要

1) ニゴロブナ・ホンモロコ栽培漁業推進事業 (県補助事業)

ニゴロブナおよびホンモロコの資源量の急激な減少に対処して、資源の維持増大を図るため、種苗の生産放流を県補助対象事業、一部、協会単独事業として実施した。

(1) ニゴロブナ

放流結果

全長	28mm	887万尾	(計画	20mm	800万尾)
(うち水田放流分 630万尾)					
全長	114mm	134万尾	(計画	120mm	130万尾)
合計		1,021万尾	(計画		930万尾)

標識調査結果

年度	混獲率
平成 19 年度	77%
平成 18 年度	68%
平成 17 年度	66%

混獲率：漁獲魚に占める放流魚の割合

(2) ホンモロコ

放流結果

全長	21mm	354万尾	(計画	20mm	300万尾)
----	------	-------	-----	------	--------

標識調査結果

年度	混獲率
平成 19 年度	75%
平成 18 年度	66%
平成 17 年度	39%

混獲率：漁獲魚に占める放流魚の割合

2) ホンモロコ資源緊急回復対策事業 (県委託事業)

減少したホンモロコ資源をふ化仔魚の大量放流で早急に回復させるため、姉川人工河川飼育池を活用し、平成 20 年度のふ化仔魚大量放流に向け、水産試験場と共同して、ホンモロコ親魚を養成した。

生産結果

養成親魚量	2.1トン	(計画	4.5トン)
-------	-------	-----	--------

3) アユ人工河川管理運用事業（県委託事業）

鮎資源の維持培養を図るため、県の委託を受け、安曇川、姉川の人工河川を管理運用し鮎資源の増殖に努めた。

結果

放流親魚量	13.5 トン	(計画 13.5 トン)
購入親魚	10.0 トン	(計画 10.0 トン)
天然親魚	3.5 トン	(計画 3.5 トン)
流下仔魚数	19 億尾	

4) シジミ資源増大推進事業（県漁連委託事業）

セタシジミの資源および漁獲量の大幅な減少に対処し資源の回復を図るため、県漁連が実施する種苗の生産放流事業のうち、種苗生産分を県漁連より受託し、D型仔貝の生産・供給を行った。

放流結果

D型仔貝	30 億個	(計画 35 億個)
------	-------	------------

5) 沿整増殖場施設管理事業（県委託事業）

ホンモロコ、ニゴロブナ等温水魚の繁殖を保護助長するため県が沿岸漁場整備開発事業で設置した16ヶ所の増殖場施設を、その有効適切な活用と事故事前防止のため、県の委託を受けて施設の破損、集魚状況等の定期点検管理を実施した。

6) ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業 4月～7月）

ニゴロブナ、ホンモロコ等の産卵繁殖を保護助長するため、水産資源保護法により指定された湖北町延勝寺及び近江八幡市牧町地先の保護水面において、巡回監視、産卵繁殖状況等の把握業務を、県の委託を受けて実施した。

7) アユ保護水面管理事業（県委託事業 9月～11月）

水産資源保護法の規定に基づき知事が指定した保護水面区域（8河川）において、産卵アユの密漁、産卵アユの散逸および産卵孵化を妨げる行為の未然防止のため監視等を行った。

8) 情報提供事業

インターネットによるホームページを開設し、広く県民に事業の情報を提供した。

9) 湖づくり活動支援事業

全長114mmのニゴロブナ稚魚3万尾に標識をつけて放流した。

2 貸借対照表

平成 20 年 3 月 31 日

財団法人 滋賀県水産振興協会
一般会計

(単位:円)

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	6,715,214		
有価証券	190,964		
未収入金	5,934,828		
流動資産合計		12,877,006	
固定資産			
基本財産			
基本財産	11,000,000		
基本財産合計	11,000,000		
その他の固定資産			
建物	243,986,375		
構築物	325,671,700		
車両運搬具	3,992,005		
什器備品	109,063,743		
船舶	7,700,000		
減価償却累計額	423,959,984		
電話加入権	257,227		
鮎資源対策積立預金	10,000,000		
退職給与引当預金	28,815,890		
温水魚資源対策積立預金	1,075,481,351		
水産加工業振興対策積立預金	200,000,000		
その他の固定資産合計	1,581,008,307		
固定資産合計		1,592,008,307	
資産合計			1,604,885,313

【負債の部】			
流動負債			
未払金	10,472,737		
預り金	295,495		
流動負債合計		10,768,232	
固定負債			
退職給与引当金	28,815,890		
固定負債合計		28,815,890	
負債合計			39,584,122
【正味財産の部】			
正味財産			1,565,301,191
(うち基本金)			(11,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			(42,572,760)
負債及び正味財産合計			1,604,885,313

3 収支計算書

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで

財団法人 滋賀県水産振興協会
一般会計

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
【収入の部】				
基本財産運用収入	198,000	198,035	35	
補助金等収入	97,184,000	97,184,575	575	
負担金収入	9,700,000	9,700,000	0	
寄付金収入	1,200,000	1,200,000	0	
雑収入	13,802,000	12,826,610	975,390	
特定預金取崩収入	23,516,275	23,516,275	0	
当期収入合計 (A)	145,600,275	144,625,495	974,780	
前期繰越収支差額	3,952,725	3,952,725	0	
収入合計 (B)	149,553,000	148,578,220	974,780	
【支出の部】				
ニゴロブナ・ホンモロコ栽培漁業推進事業費				
情報提供事業費	61,716,000	61,716,379	379	
シジミ資源増大推進事業費	97,000	61,179	35,821	
沿整増殖場管理点検事業費	4,840,000	4,840,000	0	
鮎保護水面管理事業費	3,300,000	3,300,000	0	
鮎保護水面管理事業費	890,000	890,000	0	
ホンモロコ資源緊急回復対策事業費	1,468,000	1,468,000	0	
湖づくり支援活動事業	19,900,000	19,901,609	1,609	
人工河川管理運用事業費	1,200,000	1,163,549	36,451	
管理費	31,100,000	31,108,541	8,541	
固定資産取得支出	20,986,000	18,979,634	2,006,366	
特定預金支出	924,000	924,000	0	
当期支出合計 (C)	2,134,000	2,116,555	15,445	
当期収支差額 (A)-(C)	148,553,000	146,469,446	2,083,554	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	2,952,725	1,843,951	1,108,774	
	1,000,000	2,108,774	1,108,774	

4 正味財産増減計算書

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで

財団法人 滋賀県水産振興協会
一般会計

(単位：円)

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
什器備品購入額	924,000		
退職給与引当預金増加額	2,116,555	3,040,555	
負債減少額			
増加額合計			3,040,555
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	1,843,951		
固定資産除却額	48,725		
建物減価償却額	6,805,386		
構築物減価償却額	9,193,418		
車両運搬具減価償却額	39,916		
什器備品減価償却額	1,972,064		
船舶減価償却額	76,998		
その他積立預金取崩額	23,516,275	43,496,760	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	2,116,555	2,116,555	
減少額合計			45,613,315
当期正味財産減少額			42,572,760
前期繰越正味財産額			1,607,873,951
期末正味財産合計額			1,565,301,191

5 財産目録

平成 20 年 3 月 31 日

(単位：円)

(資産の部)			
1. 流動資産			
1. 現金預金			
(1) 現金	27,490		
(2) 普通預金	6,723,724		
(3) 有価証券	190,964		
(4) 未収入金	5,934,828		
流動資産合計		12,877,006	
2. 固定資産			
1. 基本財産			
基本財産合計	11,000,000		
2. その他固定資産			
(1) 建物	243,986,375		
(2) 構築物	325,671,700		
(3) 車輛運搬具	3,992,005		
(4) 備品 什器備品	109,063,743		
(5) 船舶 4 隻	7,700,000		
減価償却累計額	423,959,984		
(6) 電話加入権	257,227		
(7) 鮎資源対策積立預金	10,000,000		
(8) 退職給与積立引当預金	28,815,890		
(9) 温水魚資源対策積立預金	1,075,481,351		
(10) 水産加工業振興対策積立預金	200,000,000		
その他固定資産合計	1,581,008,307		
固定資産合計		1,592,008,307	
資産合計			1,604,885,313

(負債の部)			
1. 流動負債			
1. 未払金	10,472,737		
2. 預り金	295,495		
流動負債合計		10,768,232	
2. 固定負債			
1. 退職給与引当金	28,815,890		
固定負債合計		28,815,890	
負債合計			39,584,122
正味財産			1,565,301,191

6 平成20年度事業計画

1) ニゴロブナ栽培漁業推進事業（県補助事業：年間）

本県漁業の中心魚種であるニゴロブナの急激な減少に対処して、栽培漁業による資源回復を速やかに進めるため、栽培漁業センターの陸上池、湖上網イケス等や、水田の生産力を活用して生産効率を高めながら、増殖効果の高い種苗の生産と放流を実施する。あわせて放流効果と放流方法の改善を図るため標識追跡調査を実施する。

- ・水田育成 2cm 種苗 800万尾
- ・大型 12cm 種苗 120万尾
- ・放流効果モニタリング 耳石標識調査等

2) 温暖化適応型ニゴロブナ種苗放流技術開発事業（県委託事業：新規）

通常、琵琶湖の水温は晩秋期には表層と底層でほぼ一定になり、この時期にニゴロブナ種苗を放流するとスムーズに湖底に移行し越冬するが、近年地球温暖化の影響を受け水温が一定になる時期が遅れるため、種苗の飼育期間を3ヶ月程度延長して放流し、通常期（晩秋期）放流との放流効果を比較検証する。

- ・放流時期 2月末
- ・放流尾数 10万尾（12cm種苗）
- ・追跡調査 漁獲物調査

3) ホンモロコ資源緊急回復対策事業（県委託事業：年間）

減少したホンモロコ資源を回復させるため、姉川人工河川およびホンモロコ産卵場に発眼卵とふ化仔魚を大量に放流する。また、次年度大量放流試験に向け採卵用親魚の生産を実施する。

- ・ふ化仔魚生産 7,000万尾
- ・採卵親魚生産 60万尾

4) 人工河川管理運用事業（県委託事業・年間）

アユ資源の安定維持を図るため、8月末から9月上旬にかけて養成親魚を安曇川人工河川に放流し、また9月上旬から10月中旬に天然親魚を特別採捕し姉川人工河川に放流して効果的に産卵させ、ふ化仔魚の流下を助長する。

- ・養成親魚放流 8トン （安曇川人工河川 8月末～9月上旬）
- ・天然親魚放流 3.5トン （姉川人工河川 9月上旬～10月中旬）

5) 沿整増殖場施設管理点検事業（県委託事業・年間）

沿岸漁場整備開発事業により琵琶湖の沿岸域に設置された17ヶ所の増殖につい

て、施設の破損等や集魚状況の確認、標識灯の太陽電池パネルの清掃、雑木等の伐採を行い、施設の有効利用と湖上事故防止に努める。

6) 情報提供事業

インターネットによるホームページや協会ニュースの発行などにより、漁業者および県民に琵琶湖栽培漁業センターの事業を中心とした水産業の情報の提供に努める。

7) 自主事業・湖づくり活動推進支援事業

栽培漁業センター内の遊休施設等の有効利用を図りながら、琵琶湖の重要水産資源の早期回復と今後の栽培漁業対象魚種の各種技術の習得に向けて、県の補助・委託事業に加えて独自に種苗生産・放流、調査事業等に取り組む。

1) ニゴロブナ

大型	12cm 種苗	5 万尾	(購入)
	2cm 種苗	200 万尾	
水田育成	2cm 種苗	200 万尾	(10ha)
シート型浮き産卵床開発調査(モロコも含む)			
標識放流魚追跡調査(南湖放流7万尾を対象)			

2) ホンモロコ

2cm 種苗	300 万尾	(山田筏網イケス)
--------	--------	-----------

3) アユ

天然親魚放流	5 トン	(安曇川人工河川)
--------	------	-----------

4) ワタカ

親魚養成
採苗試験

7 平成20年度 収支予算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日

一般会計

(単価：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
【収入の部】				
基本財産運用収入	198,000	198,000	0	
補助金等収入	74,995,000	97,184,000	22,189,000	
負担金収入	9,700,000	9,700,000	0	
寄付金収入	1,200,000	1,200,000	0	
雑収入	10,948,000	13,802,000	2,854,000	
特定預金取崩収入	35,567,000	23,516,275	12,050,725	
当期収入合計 (A)	132,608,000	145,600,275	12,992,275	
前期繰越収支差額	1,000,000	3,952,725	2,952,725	
収入合計 (B)	133,608,000	149,553,000	15,945,000	
【支出の部】				
ニゴロブナ栽培漁業推進事業費	44,430,000	61,716,000	17,286,000	
情報提供事業費	97,000	97,000	0	
シジミ資源増大推進事業費	0	4,840,000	4,840,000	
沿整増殖場管理点検事業費	2,500,000	3,300,000	800,000	
鮎保護水面管理事業費	0	890,000	890,000	
鮎保護水面管理事業費	0	1,468,000	1,468,000	
ホンモロコ資源緊急回復対策事業費	26,690,000	19,900,000	6,790,000	
温暖化適応型ニゴロブナ放流事業費	1,300,000	0	1,300,000	
自主事業	5,900,000	0	5,900,000	
湖づくり活動支援事業費	1,200,000	1,200,000	0	
人工河川管理運用事業費	28,500,000	31,100,000	2,600,000	
管理費	19,894,000	20,986,000	1,092,000	
固定資産取得支出	0	924,000	924,000	
特定預金支出	2,097,000	2,132,000	35,000	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
当期支出合計 (C)	133,608,000	148,553,000	14,945,000	
当期収支差額 (A)-(C)	1,000,000	2,952,725	1,952,725	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	1,000,000	1,000,000	

8 役員名簿

(平成20年6月現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	田口 宇一郎	評議員	磯崎 和仁
副理事長	鳥塚 五十三	〃	今井 博詞
常任理事	栗野 圭一	〃	氏家 宗二
理事	奥村 治一郎	〃	遠藤 誠次
〃	佐野 高典	〃	遠藤 誠
〃	田井中 一比古	〃	大江 孝二
〃	但馬 甚一	〃	小林 眞
〃	中嶋 信夫	〃	斎藤 龍次郎
〃	永尾 一夫	〃	澤田 宣雄
〃	西居 悟	〃	中山 幸雄
〃	林 英志	〃	西川 忠雄
〃	東 文一	〃	疋田 重雄
〃	藤岡 康弘	〃	平山 次夫
〃	松井 俊治	〃	藤原 公一
〃	松岡 正富	〃	増田 英治
監事	浅井 庄平	〃	望月 幸三
〃	駒井 順一	〃	吉田 守
〃	的場 洋		

(50音順)